参考資料５

戸別収集に関するアンケート調査結果報告書

▶ 調査概要

- 調査目的　戸別収集を体験した方の意見を反映し、本市における”戸別収集のあり方”を検討するための基礎資料とする。
- 調査地域　幸町、新栄町、芹沢、共恵一丁目、共恵二丁目、中海岸一丁目、浜竹四丁目、東海岸北一丁目、東海岸北二丁目、東海岸北三丁目、元町
- 調査対象　調査地域内の世帯及び事業者
- 調査方法　調査地域内のごみに関する問題にご尽力いただいている自治会長及び環境指導員へ案内を送付するほか、市ホームページで回答フォームを公表し、郵送回答または回答フォームによる回答
- 調査期間　令和8年8月13日㈭から令和8年9月13日㈰まで
- 回収結果　98件（市民：98件、事業者：0件）
  （郵送回答：9件、回答フォームによる回答：89件）
- 調査内容　回答者属性、戸別収集による影響や効果

▶ 回答者属性

・ 年齢

① 10歳代	0 件	② 20歳代	1 件
③ 30歳代	3 件	④ 40歳代	10 件
⑤ 50歳代	21 件	⑥ 60歳代	22 件
⑦ 70歳代	29 件	⑧ 80歳以上	12 件

・ 世帯構成

① 単身世帯	7 件	② カップル・夫婦のみ世帯	37 件
③ 子育て世帯（未就学児がいる）	11 件	④ 二世代同居世帯	30 件
⑤ 三世代同居世帯	3 件	⑥ 兄弟姉妹など親族同居世帯	3 件
⑦ その他	7 件		

・ 居住地域

① 幸町	6 件	② 新栄町	16 件
③ 芹沢	15 件	④ 共恵一丁目	3 件
⑤ 共恵二丁目	4 件	⑥ 中海岸一丁目	2 件
⑦ 浜竹四丁目	1 件	⑧ 東海岸北一丁目	2 件
⑨ 東海岸北二丁目	3 件	⑩ 東海岸北三丁目	42 件
⑪ 元町	4 件		

・ 住居形態

① 戸建て住宅	91 件
② 8戸未満の共同住宅（アパート・マンションなど）	2 件
③ 8戸以上の共同住宅（アパート・マンションなど）	2 件
④ 店舗等併用住宅	1 件
⑤ その他	2 件

・ 自治会加入状況

① 加入している	98 件	② 加入していない	0 件

【自治会加入状況内訳】

・ 本町第四自治会	0 件	・ 元町第一自治会	1 件
・ 元町第二自治会	3 件	・ 新栄町第一自治会	3 件
・ 新栄町第二自治会	2 件	・ 十間坂自治会	12 件
・ ザ・パークハウス茅ヶ崎自治会	0 件	・ 若松町幸自治会	2 件
・ 共恵中央自治会	1 件	・ 共恵東自治会	1 件
・ 幸町自治会	3 件	・ 共恵海岸通り自治会	4 件
・ 中海岸自治会	3 件	・ 東海岸北一丁目自治会	2 件
・ 東海岸北二丁目自治会	3 件	・ 東海岸北三丁目自治会	42 件
・ 浜竹四丁目自治会	1 件	・ 芹沢西部自治会	2 件
・ 芹沢久組自治会	2 件	・ 芹沢中部自治会	4 件
・ 芹沢東部自治会	1 件	・ 二本松自治会	2 件
・ 芹沢ひかりが丘自治会	1 件	・ 芹沢清水台自治会	2 件
・ 芹沢細谷紺谷村自治会	1 件	・ 自治会に加入していない	0 件

・ 自治会内での役割

① 自治会長	14 件	② 環境指導員	27 件
③ その他	57 件	④ 自治会に加入していない	0 件

・ 集積場所（ステーション）の清掃当番等の参加状況

① 参加している	45 件	② 参加していない	45 件
③ 以前は参加していた	8 件		

▶ 戸別収集による影響や効果

・ 戸別収集となり、”燃やせるごみ”のごみ出し負担に変化があるか。

① 負担が減った	66 件	② 負担が増えた	14 件
③ 変わらない	12 件	④ どちらともいえない	6 件

・ 戸別収集となり、”燃やせるごみ”の出す量に変化があるか。

① 減った	32 件	② 増えた	1 件
③ 変わらない	62 件	④ 分からない	3 件

・ 戸別収集となり、”燃やせるごみ”の分別や減量化などに関する意識にどのような変化があるか。（複数回答可）

① 生ごみ処理機を活用し、生ごみを減量するようになった	2 件
② 分別を徹底するようになった	41 件
③ マイバッグやマイボトルを使用するようになった	21 件
④ ごみになるようなものは買わないようになった	14 件
⑤ 食品ロスを気にするようになった	26 件
⑥ 変わらない	45 件
⑦ その他	2 件

”燃やせるごみ”を出す際に取り組まれている鳥獣対策の方法は。（複数回答可）

【新たに用意された方】

① ポリバケツ	47 件	② ネット	9 件
③ ネットボックス	18 件	④ コンテナ	5 件
⑤ 衣装ケース	1 件	⑥ その他	5 件

【他の用途（ごみの一時保管や荷物の整理など）で使用していた物を活用している方】

⑦ ポリバケツ	19 件	⑧ ネット	3 件
⑨ ネットボックス	3 件	⑩ コンテナ	3 件
⑪ 衣装ケース	2 件	⑫ その他	1 件
⑬ ステーションを利用している	1 件	⑭ 鳥獣対策をしていない	1 件

・ 燃やせるごみが戸別収集となり、ステーションの維持管理負担に変化があるか。

① 負担が減った	60 件	② 負担が増えた	4 件
③ 変わらない	26 件	④ どちらともいえない	8 件

・ 市がこれまで確認してきた戸別収集による影響や効果と異なる印象やその他の体感している戸別収集による影響や効果は。（自由記述）

主な意見は、次に示すとおりである。

- 集積場所に通りすがりの人がごみを捨てることがなくなった。
- 回収時間が早くなり、ごみ出しの負担が増えた。買わされたリ用意させられたりしたポリバケツは、今後邪魔になる。置き場に困る。
- 以前は集積場所で、入りきらなかったごみがカラスによく荒らされていたが、それはなくなった。
- ごみ収集職員の方の仕事ぶりや丁寧な対応に直に接することが増え、感謝と畏敬の気持ちが強くなった。
- 軽トラックのような車での回収となり、今までの回収してくださる方々とは違う感じの方々にもなったようで、不安を感じている。

・ 戸別収集導入検討に関する事業全般などに対するお気づきの点等は。（自由記述）

主な意見は、次に示すとおりである。

- 燃やせるごみの戸別収集は、各家庭がごみ出しする際に責任を持つことに通ずるため、全市全域に広めるべきである。
- 高齢化や人口増・アパート増により、集積場所の清掃当番や場所の確保（開発による喪失・移動問題）が限界に達している。戸別収集への移行は時代の要請であり、自治会や特定の住民の負担が大きく減った。
- 同じ自治会内で戸別収集の有無が分かれていると対応に困るため、自治会単位で統一して拡大を進めてほしい。
- 戸別収集は住民の負担が最も少ない反面、収集コストは最大となる。要する費用や費用対効果を考慮し、戸別収集以外の代替手立ても検討すべきだ。
- 回収後にごみ箱の蓋がきちんと閉まっていなかったり、隣家の敷地に置かれたりすることがあるため、元通りの場所に丁寧に戻してほしい。
- 燃やせるごみだけでなく、資源物や燃やさないごみ・プラごみも戸別収集にして、街の集積場所自体を全廃してほしい。
- 依然として、ステーションへ不法投棄する人がいるため、防犯カメラの設置や警察との連携・自治会への情報共有など対策を強めてほしい。
- 収集作業をするのは大変だと思うが、今後も継続して頑張ってほしい。